

2024.11.03 (日)

## 研究室を探検しよう (臨床器械工学研究室 - 和多田教授)

### OB/OG が医用工学科で公開出来る研究内容を見学後のご報告

川崎支部 支部長 山岸一雄

開催日時：2024年11月02日(土) 10:50~12:10 (世田谷キャンパス2号館4階)  
(参加者4名 - (内 川崎支部3名、一般者(女性1名))

- 昨年(2023年11月)から和多田教授へ提言し、両社の協議で実現をした。
- 見学会の流れは以下です(大学院生33名+学部生20名)。
  - ①臨床器械工学研究室 (ポスターによる研究内容の紹介、質疑応答)
  - ②実機による動態展示 (実機の説明、試乗等を含む体験、質疑応答)
  - ③手術室見学 (設備機器等の説明、手技の体験 (電気メスによる模擬切開)、質疑応答)
- 高校生に伝えるポスターの説明内容は、プラズマ医療 (がん医療等)、超音波 (腹部大動脈瘤自動検診システム等)、心電図 (移動用補助杖を用いた計測等)、人工臓器 (人工心臓等)、カプセル内視鏡 (自走機構等)、手術ロボット (腹空鏡手術等)、車いす・mPm (移動補助機器) (mPm と車いすの連結利用等)、義手・義足 (パラ卓球用筋電義手機構の開発等)。
- 各グループからの説明者に、最も困難な点、自分のゴールについて聞いたところ、研究内容を分かり易く説明したことと同様に、淀みなく回答をしてくれました。これは普段から自分の考えや方針を繰り返しシミュレーションしていると思います。
- 毎週のゼミ、授業等多忙な和多田教授の指導が大きいのでしょう。
- 説明者の4年生からは、大学院に進学して研究を続けたいと明言する学生がいたことは、心強い反応です。



(世田谷祭の朝－2024.11.02)



(集合写真－後列右から2人目 山岸支部長)



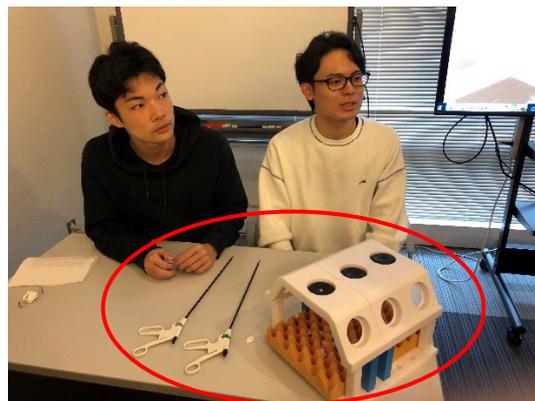
(説明パネル)



(クリーンルーム内で大腸菌培養等)



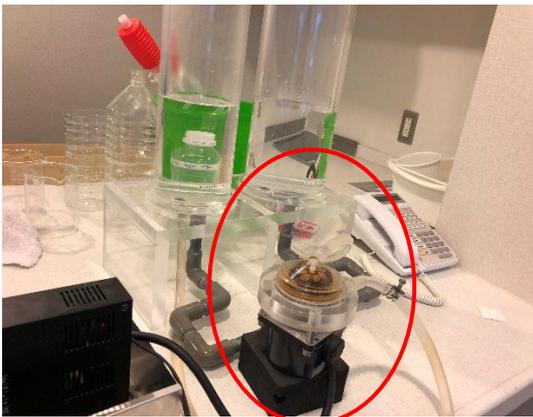
(電気メスの体験－肉が焦げる匂い)



(鉗子でBOX内の紙をつまむ体験)



(心電図の体験－右の赤い丸は頸動脈)



(手前の弁がある機器は人工心臓) (今後実用化する車椅子を補助する移動補助機器 mPm)

以 上